

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	農業資材等適正処理推進事業	所管	市民経済部 農政課
			TEL 2998-9158

事業の目的 (何の為に 行うか)	農業生産により排出される使用済み農業資材等の適正処理に対して助成することで、環境に配慮した農業生産の健全な発展に資する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	本事業で処理することが必要かつ可能な使用済み農業資材等の重量	対象とした数	57	t
		実際に 利用した数	62	t

活動の内容	(何を したか)	使用済み農業資材等の回収日を年数回設ける。回収場所は、農業者が集まりやすい所とする。農業者は農業資材等を専用の回収袋に入れて、回収場所に搬入する。回収された農業資材等は助燃剤等にリサイクルされる。							
	活動実績	項目名	農ポリ回収	57.4	項目名	農業空缶(スチール)回収	3.8	項目名	塩ビ回収
			単位 t			単位 t			単位 t

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,080	1,080	1,832	5.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	処理委任状提出者のうち農ポリ回収に参加した農業者の割合	参加世帯数 ÷ 委任状世帯数(997) × 3 回	1500	562	37.5
			単位 世帯	単位 世帯	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし その他 [] 終了
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当	部課コード	031200	TEL	2998-9158
031204	農業資材等適正処理推進事業	市民経済部 農政課	グループ	振興		
開始年度 平成 10 年度 → 終了年度 平成 年度						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	埼玉県生活環境保全条例 所沢市農業資材等適正処理推進事業実施要領	
	分野別計画・指針	所沢市地域農業マスタープラン			
	関連・類似事業	環境にやさしい農業推進事業			
	総合計画の体系	政策 第5章にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策 1節 農業	中柱 1 生産基盤の整備	
				小柱 (4)環境に配慮した農業の推進	
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 21 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード	コード	コード	
	事業開始の背景	平成10年4月から所沢市は、ダイオキシン対策として、プラスチック類を焼却しなくなった。また、埼玉県公害防止条例では、焼却時に黒煙・悪臭等が発生する廃棄物の焼却は禁止となっており、焼却処分に代わる新たな処理システムの確立が急務となった。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	農業生産により排出される使用済み農業資材等の適正処理に対して助成することで、環境に配慮した農業生産の健全な発展に資する。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方	回収された使用済み農業資材等の重量		
	本事業で処理することが必要かつ可能な使用済み農業資材等の重量	回収された使用済み農業資材等の重量			
	対象数	単位	平成 18 年度	63	t
			平成 19 年度	57	t
	事業の具体的な内容及び実施方法	利用数	単位	平成 18 年度	68 t
			平成 19 年度	62	t
	使用済み農業資材等の回収日を年数回設ける。回収場所は、農業者が集まりやすい所とする。農業者は農業資材等を専用の回収袋に入れて、回収場所に搬入する。回収された農業資材等は助燃剤等にリサイクルされる。				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input type="checkbox"/>
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点	環境にやさしい農業推進事業(生分解性マルチフィルム利用推進)により、ポリエチレンフィルムの使用量削減を図るように農業者への周知・啓発に努めた。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,080	1,080	1,080
	決算(見込み含む)		1,040	1,080	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.08 人	736	0.08 人	752
	公債費				
	事業費合計		1,776	1,832	
	財源内訳	一般財源	1,776	1,832	1,080
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		5.3	5.4	
	利用数一単位あたり(単位:円)		26,117.6	29,540.6	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	農ポリ回収	回収された使用済み農ポリの重量	t	62.6	57.4	62
		農業空缶(スチール)回収	回収された使用済み農業空缶(スチール)の重量	t	3.7	3.8	4
		塩ビ回収	回収された使用済み塩ビの重量	t	1.7	0.8	0.8
	成果分析	処理委任状提出者のうち農ポリ回収に参加した農業者の割合	参加世帯数÷委任状世帯数(997)×3回	世帯	目標値 1,500	実績 562	1,500
			%	達成率 43.3	37.5		1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 所沢市農業資材等適正処理推進協議会 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	明らかとなった課題	気候や作付により使用量が変わるため、回収量に変化がある。			
	今期目標項目(何を)	使用済み農業資材等の回収実績	達成水準(どこまで)	平成19年度の3,298袋から10%増加を図る。	時期(いつまで)
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	環境にやさしい農業を推進している本市にとって、使用済み農業資材の適正処理は大変重要な事業である。さらに市民の環境問題への意識が高まる中、環境先進都市としても重要な環境施策である。今後、事業参加者数の増加を目指し、啓発チラシなどの配布を進める。				
評価日	平成 20 年 5 月 8 日	記入者職氏名	課長 越阪部 孝夫		

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	322	323	
	施策の体系	3-2資源循環の促進	3-2-2リユース・リサイクルの推進			
		3-2資源循環の促進	3-2-3廃棄物の適正処理			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					